

ごみ焼却灰をエコセメントへリサイクル

エコセメント事業とは、多摩地域（25市1町）の清掃工場から排出される焼却残さをエコセメントの原料としてリサイクルする事業です。当社は、エコセメント化施設を所有している東京たま広域資源循環組合から施設の運転と維持管理を委託され、2006年（平成18年）7月に施設運転を開始しました。

エコセメント事業によって二ツ塚最終処分場（西多摩郡日の出町）へ埋め立てられていたごみ焼却灰を全量エコセメントの主原料としてリサイクルすることで資源循環を担っています。

製造されたエコセメントは、日本産業規格（JIS 日本工業規格から改称）に定められていて普通のセメントとほぼ同じ品質で、街で見かける道路側溝や歩道用ブロックとして幅広く使われています。

“Think Globally, Act Locally”

私たちは、ごみの最終処分から資源循環をするエコセメント事業に民間事業者として取り組んでいます。長年にわたるセメント製造から培った専門的な知識・技術を継承し、持続可能な社会の実現を推進してまいります。

西多摩の地で20年

当社の事業活動は地元の信頼なくして成り立ちません。これまで同様に地元の皆さんに信頼され、安全安心な事業運営を図ってまいります。

東京たまエコセメント株式会社

代表取締役社長 田中 勲